

本堂裏地蔵山の 防災保全工事を進めています

昨年の夏は三十五度前後の猛暑が続き、連日熱中症警戒アラートが発せられるような異常な夏でした。各地からは線状降水帯による豪雨災害のニュースが報じられ、一方、所によっては雨が降らず貯水ダムの水が涸れ、水田が干上がるところもありました。被害に遭われた方々が口にする言葉は皆「今までこんなことは経験したことはありません。初めてです。」

異常気象の原因は世界的な温暖化にあるようですが、地球規模の問題となると、この石川町でも何が起きていても不思議ではありません。四年前の台風十九号の時も雨が降り続けていたら町内各所で土砂災害や山崩れがあったかもしれない。長泉寺も山を背負い、その一部は土砂災害特別警戒区域に指定されています。また急傾斜地や保安林に指定されている箇所もあります。平時の今から出来る防災対策に力を入れていかなければと思っ

ています。その対策の一つとしては本堂裏の地蔵山の保安管理の見直しです。具体的には山崩れ防止のための植樹、広い面積を占める境内墓地の雨水の処理、墓地掃除の仕方の変更等です。墓地掃除については、

①昨年より除草剤の使用を若干控えるようにしました。除草剤による土壌風化に伴う土壌流出を抑えるためです。②除草剤をかける範囲は個々の墓地内と通路の一部に限定しました。③草刈り機による除草の回数を増やしました。今までのような草が一本もない見たいにきれいな墓地でなくなります。植樹については一昨年から長泉寺花見山構想のもと、花の咲く多樹種の植栽を継続しています。雨水の処理については、排水路や排水マスの整備、豪雨時の雨水を流す溝を兼ねたコンクリ通路やインターロッキング舗装など、大きな工事を実施しました。令和六年度もこれらの防災工事を継続してまいります。



▲ 導水管



▲ 水路を兼ねたコンクリ舗装



▲ 浸透性のインターロッキング通路



▲ 手すり付コンクリート階段



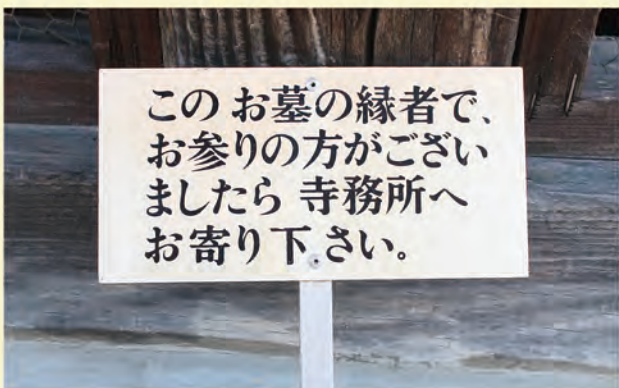
▲ 参道・境内を散歩するツリートップ保育園の子どもたち



参道は必ず徐行して下さい
表参道、裏参道どちらも入口から駐車場間は見通しがありよくありません。時折歩行者・子供の往来も多い中をスピードを出して通行する車を見かけます。お檀家の皆さまが安全安心にお参りできるようにいつでも止まれる速度、徐行をお願いします。

お塔婆依頼は早めにお願ひします
葬儀・法事のない時でも宗門の行事等で留守にしていることがあります。お塔婆のご依頼は一週間ほど前までに依頼下さい。また相談事などのご来寺は事前にお電話でご連絡ください。

お寺からのお願ひ



転居の際は お墓に必ず連絡を
お墓のお参りもなくなり、護持会費等の納入も途絶えてしまうお檀家が少数ながら出ています。ご本人の高齢化やご逝去、高齢者施設への入所などさまざま理由でお寺との関係が途絶えてしまったようです。生活空間の拡大や人口減少等の社会の変化、また信仰心の希薄化、密な人間関係を嫌う社会風潮などを考えると、今後この傾向はさらに増加していくのではと危惧しています。

護持会費や墓地環境整備費については、本堂等の火災保険や宗門に納める宗費、墓地内のお掃除等に充てています。なにとぞ趣旨をご理解いただきご協力ください。

お墓については、お墓といえども長い年月を経れば傾き危険な状態になります。そのようなお墓をお持ちの遠方のご親族には、お近くのご親族からご連絡いただきたいと思います。尚このようなお墓にはお寺の方で写真のような看板を立てさせていただきます。